

美栗陸送

遺品整理事業を開始

部屋片付け、貴金属や衣類など買い取り

遺族からの相談に対応

商品自動車陸送業の美栗陸送（岐阜市細畑、栗本佳孝社長）は、故人の部屋の片付けや遺品の整理をする新規事業「エンディング整理サービス」を始めた。専門の人員を1人配置、ワンルームで6万円からの割安価格で行う。今後、独居老人などとの接点の多い自治体や民生委員などにPRをしながら受注を増やし、月間5件の受注を目指す。

（鈴木隆宏）

同事業では遺品の処分見として残す品と処分分に当たり、遺族との事前の面談を重視。形か相談に乗る。また処分する品は全ア。貴金属など高価な品は専門業者に査定を

ぎふ経済

かず処分するしかない品は1円で引き取る。使用されていない肌着や消耗品、家具などは同社が購入した後、地元ケアハウスや、海外ボランティアに寄贈する。

同事業を始めるに当たり、NPO法人ハウスクリーニング協会が認定する整理収納清掃（3S）コーディネーターの3級を専門スタ

ツフが取得した。遺族は身内や身近な人が亡くなったことで気持ちが悪く揺れているケースが多く、適切な判断ができなくなっていることが多いという。栗本社長は「十分な時間をかけて相談に乗ることで、落ち着いてもらえるようにしたい」と話していた。

（取材協力）美栗陸送